

## 5 米の輸入等に関する動向

### (1) 米の輸入状況

#### (ア) ミニマム・アクセス米の輸入量

平成7年度から15年度までのミニマム・アクセス米の輸入量は601万トンとなっています(表5-1)。

#### (イ) ミニマム・アクセス米の販売状況

ミニマム・アクセス米については、国産米では対応し難い加工用需要を中心として販売するとともに、販売残となったものについては、援助用、飼料用等として備蓄し、海外からの援助要請等に対応しています(図5-1)。

しかしながら、ミニマム・アクセス米の在庫は増嵩し、16年10月末現在の持越在庫は148万トンとなっています。

16年度において、みそ、米菓等の加工用途への販売は、15年産の特定米穀の価格が高騰したこと等から29万トン程度が販売され、前年に比べ8万トン程度増加しています。

表5-1 ミニマム・アクセス米の輸入数量の推移

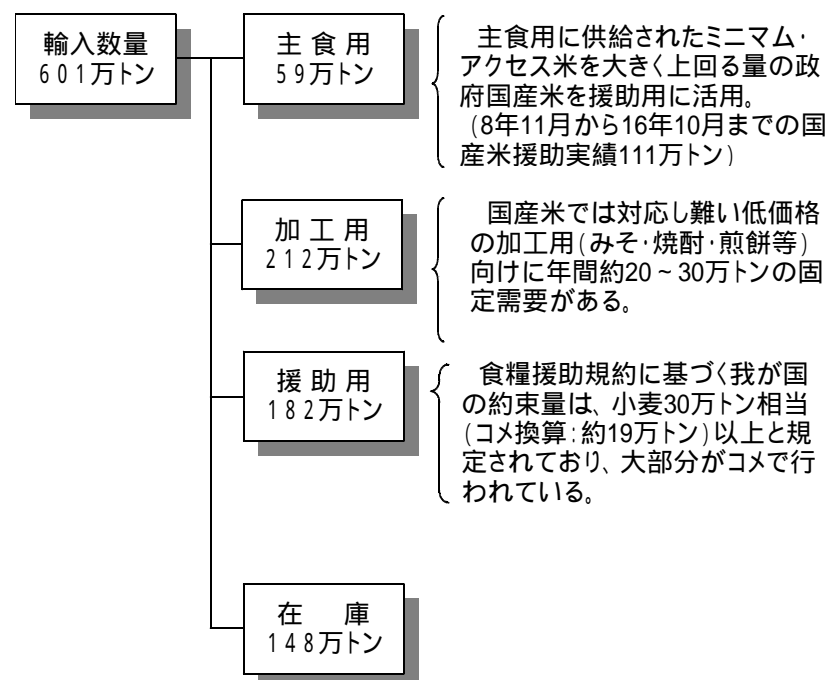
(単位：万トン)

年度	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	合計
輸入数量	43	51	60	68	72	77	77	77	76	601

資料：農林水産省調べ

図5-1 ミニマム・アクセス米の販売状況

(平成7年4月～16年10月末)



資料：農林水産省調べ

## ( 2 ) 米の輸出状況

国内産米については、商業用として年間数百トン程度が台湾、香港、シンガポール、米国等に輸出されており、主として高所得者層や在留邦人を対象に販売され、価格は370～1,100円 / kg程度となっています(表5 - 2、表5 - 3、表5 - 4)。

近年、中国をはじめとする東アジア地域において、経済発展を背景に富裕層が増加し、日本食も普及・定着しつつあることから、同地域に対する国内産米の輸出拡大の可能性が高まってきています。

表5 - 2 米穀輸出届出実績

(単位：精米トン)

	商業用	救援用	個人用	見本用	学術研究用	その他	合計
平成14年度	538	150	128	10	5	11	842
15年度	391	154	130	3	2	5	685
16年度	430	73	144	4	6	59	715

資料：農林水産省調べ

注：16年度の数量は16年4月から17年2月までの実績である。

表5 - 3 商業用米穀輸出の主な輸出先国・地域(平成16年度)

(単位：精米トン)

台湾	香港	シンガポール	米国	イギリス	その他	商業用計
217	64	64	29	5	51	430

資料：農林水産省調べ

注：16年4月から17年2月までの実績である。

表5 - 4 商業用米穀輸出の主な事例(平成16年度)

輸出先	販売方法等	現地販売価格	輸出実績	備考
台湾	高齢者向け、日本食高級料理店、おにぎり用、加工米飯等多岐にわたり販売	740円～1,000円 / kg	104トン	新潟県産「コシヒカリ」 栃木県産「コシヒカリ」
台湾	高裕福層向けに百貨店で販売 現地での評価は高く、全て完売	700円 / kg	9トン	島根県産の減農薬 「ヘルシー元気米」
シンガポール	在留邦人向けに百貨店・スーパー等で販売	370円～1000円 / kg	40トン	新潟県産「コシヒカリ」 秋田県産「あきたこまち」 等
香港	外食産業用及び現地スーパーにて販売	720円～750円 / kg	18トン	新潟県産「コシヒカリ」
米国	邦人観光客向けにハワイの百貨店内テナントで販売(おにぎりに加工)	830円～1100円 / kg	11トン	新潟県産「コシヒカリ(無洗米)」 秋田県産「あきたこまち(無洗米)」 等
米国	全米主要都市(200店舗)でブランド名「供米ハーベスト」として高級食材等を扱うカタログ、通信販売により販売。	1,500円 / kg程度 (105円 / ドルで換算)	2トン	新潟県産「コシヒカリ」

資料：農林水産省調べ

注：16年4月から17年2月までの実績である。

### (3) 米の輸出促進に向けた国の支援体制について

生産者団体が行う米の輸出については、「JA西いわみ」による台湾向け島根県産減農薬「ヘルシー元気米」の販売促進のほか、全国生産者団体が県本部等を構成員とした「農産物輸出連絡協議会（米部会）」を設置するとともに、食品見本市へ参加すること等積極的な取り組みが行われつつあります(表5 - 5)。

農林水産省としても、国産農産物の輸出促進を「攻め」の農政の柱のひとつとして捉え、これらの生産者団体による主体的な取組に対する予算措置等側面的な支援を行うこととしています。

さらには、検疫や通関など輸出先国の制度により輸出阻害要因となっているものについては、政府としても相手国に対して必要な改善を要請・折衝することとしています。米についても中国へ米を輸出する際には植物検疫の許可を得る必要があり、現在必要な資料を提出して中国側の許可を待っている状況にあります。

また、関係府省、地方公共団体、関係団体等幅広い関係者を構成員とする「農産物等輸出促進全国協議会（仮称）」の設立を検討しており、官民一体となって米を含めた農産物の輸出促進をより一層推進することとしています。

表5 - 5 生産者団体等による米輸出の取組状況（平成16年度）

内容	シンガポール	台湾	タイ
食品見本市への出典			
実施日	2004.4.20～23	2004.6.17～20	2004.12.8～12
会場	シンガポール・エキスポ	台北世界貿易センター	クイーン・シリキット ナショナル・コンベンションセンター
来場者数	約37,000名	約52,000名	約37,000名
試食会 (会場で炊飯)	北海道産「ほしのゆめ」 秋田県産「あきたこまち」 新潟県産「コシヒカリ」	北海道産「ほしのゆめ」 山形県産「はえぬき」 新潟県産「コシヒカリ」 (いずれも無洗米)	北海道産「ほしのゆめ」 宮城県産「ひとめぼれ」 新潟県産「コシヒカリ」 島根県産「コシヒカリ」 (いずれも無洗米)
販売			
発売日	2004.10.28	2004.10.5	2004.12.8
取扱銘柄	北海道産「ほしのゆめ」 秋田県産「あきたこまち」 新潟県産「コシヒカリ」	北海道産「ほしのゆめ」 山形県産「はえぬき」 新潟県産「コシヒカリ」	北海道産「ほしのゆめ」 宮城県産「ひとめぼれ」 新潟県産「コシヒカリ」
数量	10月 16年産 計9トン 12月 16年産 計9トン	10月 15年産 計6トン 12月 16年産 計11トン	12月 16年産 計3トン
価格	680～850円/kg	590～740円/kg	790～1,000円/kg

資料：全国生産者団体調べ